

1 指導目的

松戸少年ラグビースクールでは、幼少期から思春期に至る多感な時期にラグビーを通して人間性の育成（礼儀・理性・忍耐・努力・感謝など）を第一に考えこれを目的とする。

2 指導方針

1. 安全を最優先に考え指導する。
2. 子供達には、チャンス等を平等に与え、勝利至上主義にならないこと。
3. 子供たちの発育レベル（知的・身体含む）を見極め、個に合った指導を行う。
4. 全ポジション・全員ラグビーを基本とし、ポジションを固定しての指導は基本的に行わない。
（子供たちの発育レベルや理解度からやむを得ない場合は、最低2ポジションは教える事とする。）
5. 指導する際は、必ず子供達の目線に合わせ、理解するまで教えること。
6. 子供たちの自主性を阻害するような指導は行わないこと。
（教え過ぎず、回答に導く指導を行う。）
7. 松戸少年ラグビースクールでは、ラン・パス主体のチーム作りを目指す。

3 各カテゴリーごとの目標

■ Dチーム（U06/幼稚園）

テーマ：体作りを目標に指導していく。（柔軟性・体幹・俊敏性）

1. タックルの基本習熟。
2. 走りながらボールキャッチの習得。
3. 走りながらのパスの習得。
4. 前に出られる子を育てる。

■ Cチーム（U08/小学1・2年生）

テーマ：組織プレーの意識の発芽を目標に指導していく。

1. タックルの基本習得。
2. あたりの姿勢の習得。
3. ラン・キャッチ・パスの習得。
4. ゲーム中、前に出るディフェンス意識。
5. ゲーム中、アタックラインを作る意識。

■ Bチーム（U10 /小学3・4年生）

テーマ：完全なる組織プレーの習得を目標に指導していく。

1. 動的タックルの習得。
2. モール・ラックの習得。
3. スピードあるアタックライン。
4. スピードあるディフェンスライン。
5. 一人ひとりの間隔に意識を高める。（ポジショニング）
6. ゲインラインの意識を覚えさせる。

■ Aチーム（U12 /小学5・6年生）

テーマ：ミニラグビーの完成系を目指す。

1. ラグビーの理解度を高め、ポジショニング意識を持たせる。
2. 全員フォワード・全員バックスの子供たちを育てる。
3. 中学を意識した体作り。
4. コンタクト・タックル・ラン・キャッチ・パス・モール・ラック強化。
5. ゲーム中に『ありがとう』が飛び交うチーム作り。

■ 中学部（U15/中学生）

テーマ：中学部基本方針：ジュニア以降のラグビーに備えたスキルの習得を目指す。

1. ミニからジュニアへの違いを理解する。（ルール・ポジショニング・地域的戦術など）
2. ラン・パス・キック・コンタクトの基本スキルのさらなる充実。（反復）
3. 身体作り。（スピード・体幹・柔軟性／1対1で負けない身体作り）
4. 子供達が自ら考え自ら行動を起こせるチーム作り。（自主性の達成）
5. 展開ラグビーの完成系を目指す。